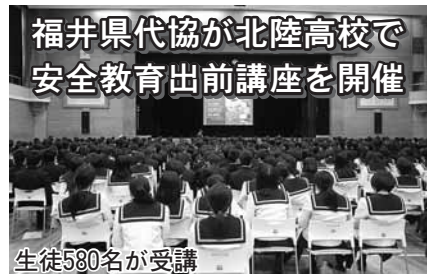


福井県代協(水野文紀会長)は昨年12月12日、福井市の北陸高校で「安全教育出前講座」を開いた。同校で同年3回目の開催となった今回の出前講座では、同代協常任理事の辻大助氏が「車社会に出る高校生の君たちへ」をテーマに登壇。生徒580名に向けて車を運転することの責任の重さを語るなど、安全運転への意識向上を呼びかけた。

生徒からは「保険に入っていないと、もし事故が起きた時に多額のお金が必要になることが分かった」「社会人になって車を利用することになったら、今日の講座



を思い出して生かしたいと思う。保険のことについて一度、両親と話してみたい」「(運転の際に)止まらなければいけないところをきちんと止まり、確認を怠らないうようにできる人になろうと思った」などの感想が寄せられた。

福井県代協では、高校にむけて車の運転への安全啓発を図る安全教育出前講座を平成23年度から実施。昨年までに延べ14校、2426名の生徒が受講している。開催校は年々増え、現在は代協内に「出前講座プロジェクトチーム」を結成し、会員代理店やその従業員など5名が講師として対応している。